

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスKaDan		
○保護者評価実施期間	R7年 11 月 21 日		R7年 12 月 29 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	R7年 12 月 6 日		R7年 12 月 29 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2 月 16 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童や保護者様の要望に沿った支援を行っている。	ご家族がお子様に取り組んでほしいこと、事業所として行えることを話し合い、支援方針を決めている。	利用児童にとって「できた」「がんばった」が増えるような様々な活動を取り入れていく。 示具の更なる充実を図っていく。
2	個別対応だけでなく当日職員も交えた小集団での活動を行っている。	児発の利用者様が同時利用の際に、児童一名につき職員一名を配置して小集団での活動を行っている。 小集団での活動が難しい児童については引き続き個別での対応を行いつつ、小集団への興味を持てるよう声掛けを行っている。	小集団で行う際には、児童によって「ねらい」が変わってくるため、ねらいに合わせた活動内容を考え、取り入れていく。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	異年齢の小集団で活動を行うことで、どちらかの児童がしたいことをできないことがある。	どちらかの年齢や発達度合いに難易度を合わせた活動を行っているため、できる難易度と取り組む難易度の差が大きくなってしまっている。	ルールの見直しや一部の活動を個別に行うことで、どちらの児童のしたいことに取り組めるようにしていく。
2			
3			